

※「耐震等級 3」の場合は、別の様式（別記様式 A）をご使用ください。

## 「くまもと型復興住宅」（耐震等級 3 相当）確認書

今回建設する住宅について、以下の事項を確認し、「くまもと型復興住宅」であることを確認しています。

平成 年 月 日

■確認した者（地域住宅生産者グループの工務店等に所属する建築士）

【資格】（ ）建築士 （ ）登録 第 \_\_\_\_\_ 号

【氏名】 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

【所属する会社等名】 \_\_\_\_\_

【所属する地域住宅生産者グループ】

シート No（ ）名称： \_\_\_\_\_

■建築場所： \_\_\_\_\_

■建築主名： \_\_\_\_\_

- 熊本の気候・風土等地域特性に配慮した住宅
- 熊本県産の木材など地域材を使用した住宅
- 被災者の住宅再建を考慮した良質でコスト低減に配慮した住宅
- 県内に本社を置く住宅事業者、大工・工務店が建設する住宅
- 耐震等級 3 相当の地震に強い住宅
  - 平家建てであること
  - 延べ面積 200 m<sup>2</sup>以下であること
  - スパンは 4.55m 以下であること
  - 建築基準法で想定する地震力の 1.5 倍以上の耐力壁量（筋違い壁等）を有ること
  - 構造耐力上主要な柱の下には土台を設け、土台は基礎に緊結すること
  - 「木造住宅のための住宅性能表示」（財）日本住宅・木材技術センター発行）構造編（以下「木造住宅性能表示構造編」という）第 2 章第 4 項～第 6 項により、接合部、基礎及び横架材について、耐震等級 3 に関する確認が行われたものであること
  - 屋根構面は 5 寸勾配以下とし、構造用合板 9mm 以上又は構造用パネル 1・2・3 級、垂木@500 以下転ばし、N50@150 以下とすること。ただし、木造住宅性能表示構造編第 2 章第 3 項により、屋根構面の床倍率について、耐震等級 3 に関する確認が行われた場合はこの限りでない。

※該当箇所にチェックの上、ご提出ください。

★